



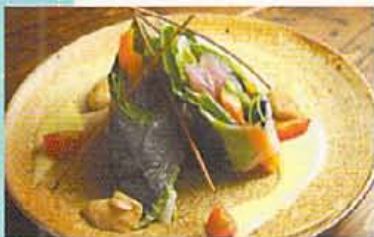
インテリアにも当然のようにカクテルをはじめ、さまざまなデザイナースモノが使われております

KITCHEN STUDIO PHI

キッチンスタジオ ファイ

学生デザインだからって ナメちゃいけませんよ!

「南草津の男性諸君、長らくお待ちせ」。ココ一番の気になったコとデートの約束を取り付けたのはいいが、「どこに行こうかな」って悩んだ諸氏も多いはず。「比較的リーズナブル」かつ、「かなりおしゃれな空間」もあり、となるとこの近辺では限られる。そんな悩みを一手に引き受けるべく登場したこちら。いわゆるデザイナースペースであるが、大阪や京都にあるのと異なるのが空間スペースの広さ。デザイナーはプロ&アマの混合チーム。現役の学生が設計の段階から加わることにより、若いコ（自分たち）が本当に幾度も通いたい店作りを心掛けた。コンセプトは「どこの場所も雰囲気違うことを考えた」というように、1階がテーブル席&ソファ、2階が座敷&カウンターとそれぞれが全く異なっており、「次はあそこに座ってみたいな」と思わせる。気になるフードは、イタリアンあり、フレンチあり、中華ありとそれぞれモダンにこだわらない創作料理のオンパレード。また、メニューは日々増えているとか。また、ワールドカップ時はプロジェクターを使ったサッカー中継も。自宅で応援するのもいいが、醍醐味はやっぱりみんなで「あ〜でもない、こ〜でもない」なんていいながらの観戦でしょ。



旬の魚と野菜の生巻き 680円



ウッドをふんだんに使用した外観は、店内からもれてくる光とあいまって周辺でも目立ちまくっています

- 草津市野路町1410
- 077-565-1140
- 17:00~翌2:00
- L.O.翌1:00 / 不定休
- 平均予算2500円

Maaf

マーフ

アジア好きが高じ 現役会社員が開眼

アジア好きな現役サラリーマンふたりが「雑貨屋する？ カフェする？」と悩みに悩んだ結果、ダイニング&バーに落ち着いた。素人（失礼）の発想は怖いもの知らず。メランコラム、バリ焼酎のアラック…「現地の酒場の雰囲気」でセレクトした関西希少アルコールが揃うのは、海外コネの多さから。「まだまだ揃えマス」。



バリで買い付けたベットをテーブルとして使用するなど、素人らしい(?)柔軟な発想が店内の星となる

- 草津市東矢倉2-9-17
- 077-566-2405
- 18:00~深夜 / 無休
- 平均予算2500円
- http://www.maaf-net.com

RISTRANTE Versare

リストランテ ヴェルサーレ

多目的スペースは 女性の笑顔のため

大津のイタリアン「ヴェルサーレ」のニュープロジェクトが南草津で始動。緑が生い茂る敷地のなかに、1階にはレストラン、2階にはカフェ。また特別な日にはパーティスペース、シンプルかつモダンなチャペル、さらにエステもありと、トータルウェディングもこなだマルチスペース。ここで似合うのは「女性の笑顔」だったり。

- 草津市追分町丸尾1000-1
- 077-565-6802
- 11:00~23:00 / 月休(不定休)



「少量でたくさんの品数を」と考え出されたランチメニュー1900円。女性限定ということで、悪しからず

萬三 南草津店

まんそう みなみくさつてん

割烹の常識を逸脱した リーズナブルなセット登場

本誌でもお馴染み「とんがら屋」も手がける萬三の南草津バージョン。「高そう…」「僕たちの口に合うやろか?」。確かに重厚な門構え。だがそんな思いにかられた若い二人でも、腰をすくませる必要はナシ。店内に足を踏み入れさえすれば、リピート可能と誰もが気づく。中でも次世代割烹コースはデートにもってこい。シャレが効くメニュー名で、2400円とコスパも十分。また、4月には店内の改装を行い、いま流行の半個室的な空間も登場。これなら周りの目を気にせず二人だけの世界でマククリとおいしい食事を、なんてのも。オープン1周年を記念して通常3800円のしゃぶしゃぶを半額の1900円にて提供。6月末までの限定メニューなので急ぐべし。



眼下に広がる絶好のロケーションのテーブル席。ほかにも、お座敷や榻榻みコタツの席などさまざまなタイプが

- 草津市野路町1756
- 077-516-1700
- 11:30~24:00 / 無休
- 平均予算3000円

shot bar Dotto

ショットバードット

秘密基地の感覚 ここで味わえます

草津のアングラ、B.SDEを匂わず窓なしのハコ。一見さんにはちょい勇気のいる扉を開けば「知る人ぞ知る」秘密を共有した優越感が心を撫でる。昼は肉体系労働で働くオーナーの、無邪気な笑顔は夜こそ輝く。100種以上のカクテルと、15種類の月替わりメニューを味わいながら、子供心に楽しめる秘密基地がここにあった。

- 草津市大路1-14-12 メゾンドプチシャンIF
- 077-565-5939
- 18:00～翌2:00/無休
- 平均予算3000円

今月の第1、2金曜日には広いスペースを生かしたジャズライブも催されるとか。まさに春回りにピッタリ

南草津櫻井

みなみくさつさくらい

テイasting感覚で 気軽に楽しみたい

南草津で、既に人気を博しているイタリアンレストラン「セニョールC」のバー。4プライス、キャッシュオンの明朝会計で、月替わり30種のワインを気軽に楽しむことができる。イタリアンテイストをベースにした、写真の日替わりデリプレート700円を友に。その他、オーガニックジュースは女性にも人気を博している。

- 草津市野路1-16-5 サンマール南草津
JR南草津ロータリー内
- 077-566-4024
- 18:00～24:00
- 月休（月曜が祝祭日の場合は翌日休）
- 平均予算3000円

ワイン価格は500円、700円、900円、1200円の4種類に限定。好みのテイストを言えば、オーナーがセレクト



プチジュエリー fef

ぷちじゅえりーエフイーエフ

一から作り上げる オリジナルこそ命

アクセサリーのアイデンティティは、マニア曰く「オリジナルにあり」。既製品のマンネリ思考を打ち破る同店のオリジナルリング4500円～は、デザインから制作までをスタッフとともに考えるマンツーマン仕様。しかも予約不要とあれば、思い立ったが吉日。制作まではちょっと…って人にはフルオーダーという手もあります。

デザインにこだわった既製品もあるが、工場から直接仕入れているためリーズナブルな価格設定に。また、オリジナルのジュエリーも販売している

- 草津市野村2-1-12 バンジャール西大路102
- 077-567-2289
- 10:30～20:30/火休(月末の火曜は営業)



ar:bleu

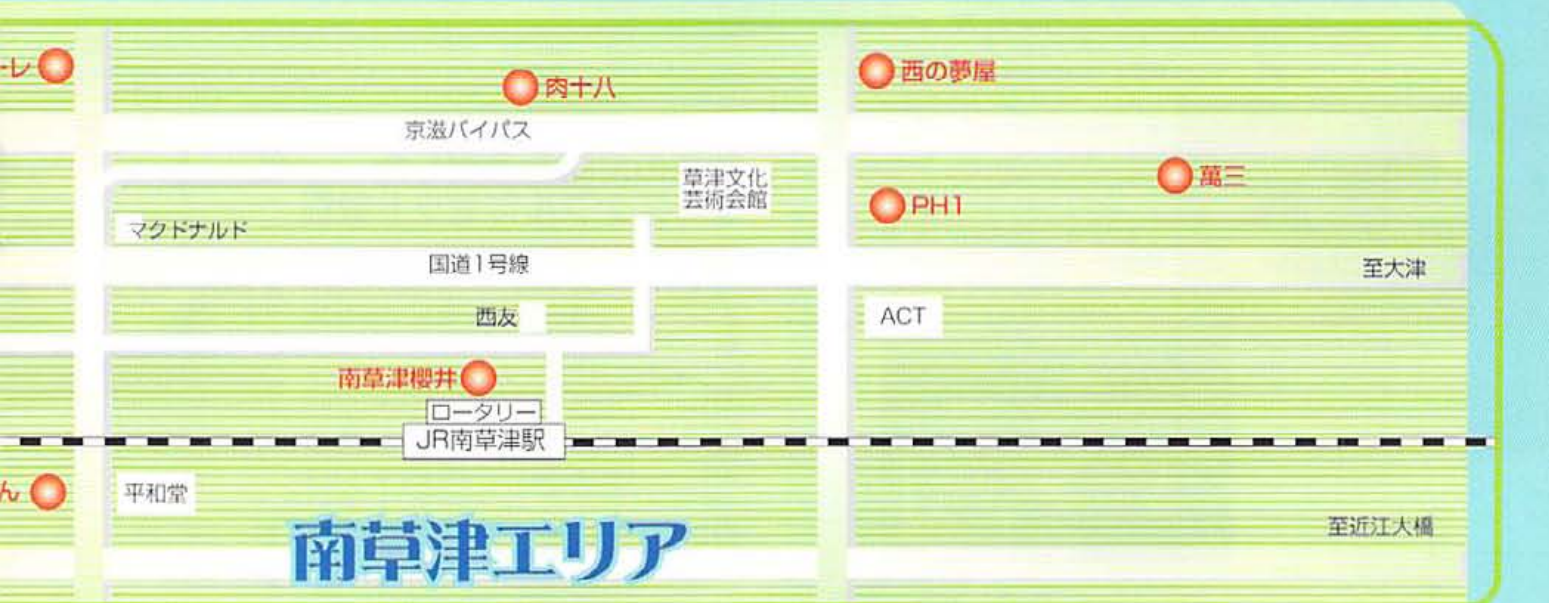
アールブル

from LONDON カラーに自信あり

海外のサロン文化はもっぱらカラー中心。国内でごくわずかのイギリス発ヴィダールササンのインストラクターがいるサロンに「ブリーチを使わず明るさを上げ希望色を入れるダブルカラー」「少ダメージで色を入れる」と、豊富なカラーテクはアタリマエ。さらにfrom LONDONの最新技術やスタイル提案も、当然お手のもの。

ピンクベージュ、ピンクブラウン、ピンクオレンジ、ハニービーチなど、カラーの種類ももちろん豊富

- 草津市野路前955 センシブルソフIF
- 077-561-7139
- 11:00～C受付20:00 (P・Color受付～19:00)
- 土日祝10:00～C受付19:00 (P・Color受付～18:00)
- 月、第3日休



南草津エリア

Marun

まるん

カルチャーショックの鉄槌を振る 南草津の草分けダイニングバー

かつて、草津（特に南草津）というと、駅前には赤提灯とスナックのごときチープな店だけが軒を連ねる、ちよい田舎なベッドタウン。いわゆる「団塊の世代」というのがノスタルジックに浸る街、だった。で、「Marun」の道教風ロゴマークが界隈に登場した時、怪訝な顔をしたのは、そんなお父さんたちだけでなく、若者たちも同じであった。「ここ、草津だよね？」なんて言いながら、ブルーライトに包まれた扉に入った瞬間、「みんな虜になったんじゃないかな」と語るのは建築士でもある是澤氏。檜板、掘り炬燵、お座敷、陶器、などをベースにしながらも、煉瓦タイルをアクセントにした「和洋のミスマッチ感」は、例えば京都・御幸町にも負けないダイニングばりのハコ具合。カルチャーショックを受け続けた草津市民、及び滋賀県民を開眼させた功績は大きい。そういえば、最初は渋っていたあの世代も、若者に啓蒙されたか本気で理解を示したか、灰色の脳細胞に影響を受けた様子。結果平日、週末を問わず、10代から70代までが一同に集まる場となった。フレンチをベースにしたドイツは勤熱なるシェフが操り出す「よそで話したくなる」系メニューがユニーク。カエル、ダチョウ、カンガルー…珍しい食材のオンパレードで、第2次カルチャーショックを、またまた地元族から放射状に与え続けるこちらのオーナー。次の展開は？「ウフフ…秘密」と不敵にほほえむ表情に、第3次カルチャーショックを与えそうな勢いを感じた次第。

- 草津市矢橋町105-1
カーサ・ソラツオ武蔵館1F
- 077-567-3751
- 11:30～14:30 / 木休
18:00～翌100 / 無休
- 平均予算3500円
- P15台あり

京都在住の照明デザイナーの作品なども展示され、プチギャラリー的な要素も見どころに



店内から少しだけ漏れる光と外光とのバランスが絶妙な外観。通りに面しているのでもわかりやすい



店内は土足解鞋になっている。オーナー曰く、「靴を脱ぐことでよりリラックスできるんですよ」と



混ぜ合わせて食べたい。斬立の目柱のカルパッチョ半份とサラダ添え1000円。奥はトマトドレッシングがイタリア風なイタリアンディッシュ1200円

